

平成30年度 建設予算概要

京都府 平成30年度建設交通部予算の概要

(1)基本方針

30年度当初予算は、知事選挙を控え骨格的予算。

- ・防災・減災緊急対策事業
- ・生活基盤等緊急整備事業
- ・平成29年災害箇所早期復旧・復興

(2)建設交通部平成30年度予算規模 **約653億円**

(3)建設交通部所管公共・単独事業費 **約433億円**

京都市 平成30年度京都市建設局予算の概要

(1)基本方針

- ・防災・減災対策の推進
- ・公共土木施設の適切な維持管理
- ・「世界の文化首都・京都」にふさわしい公共空間の創出

(2)建設交通部平成30年度予算規模 **約251億円**

設計段階で生産性向上 特記仕様に明記

国交省は、2018年度に発注する直轄営繕の設計業務委託から、特記仕様書で施工段階の生産性向上に配慮することを求めている。施工の上流にある設計段階でユニット化やプレキャスト化といった生産性を高める工法などの採用を促し、施工段階の生産性向上に取り組みやすくする狙いがある。

直轄の営繕工事では、18年度から現場の生産性を高める「施工合理化技術」を積極的に活用する。発注者指定でICT建築土工、施工BIM、電子小黒板などを活用させる試行を始める他、総合評価方式で施工合理化技術に関する技術提案を求めることを標準化した。

働き方改革 成績で最大2.8点の加点

国土交通省は、直轄工事での働き方改革に向けた取り組みを評価するため「請負工事成績評定要領」の運用を見直した。現場の週休2日に取り組み受注者を「創意工夫」と「工程管理」の項目で評価し、最大2.8点(100点満点)の加点措置を与える。完了検査の際に成績に反映する工事関係書類は、全工種共通で提出を求め書類87件を1割削減し、現場事務の効率化を図る。

【例】週休2日工事

- ・労務費と機械経費(賃料)に補正係数を導入
- ・共通仮設費・現場管理費の補正を上乗せ



創意工夫

工程管理



工事成績評定
において加点

簡易型総合評価に低入調査

7月公告から定期用

京都府は、総合評価競争入札の簡易型で、ダンピング対策として低入札価格調査制度を導入し、7月公告分から適用を開始します。舗装工事も舗装専門の「1級舗装施工管理技術者資格」を加点対象に加える方針が明らかになりました。

総合評価方式について現行は、小規模の工事で入札価格が低いほど評価値が高くなり、ダンピングを誘発するため、「最低制限価格制度」でダンピング入札を排除。最低制限価格以下の入札は評価を行わず失格にしていることから、価格その他の条件が最も有利な者が失格になっている可能性があると考えられます。

今回導入する制度で検討された点

- ◆低入札価格調査制度の適用
- ◆調査基準価格未満の評価値算出方式を新たに導入
- ◆低価格入札による府内企業の下請・府内調達へのしわ寄せを防ぐための技術評価点の見直し(減点)

見直しでは、調査基準価格を境に入札価格が低いほど評価値が下がる仕組みとして技術評価点を減点しダンピング入札の可能性を低くする。

設備系技術者にCPD 10日から運用

建設業振興基金は、設備系の技術者がCPD(継続学習)の単位を取得できる新たな制度を創設しました。電気工事施工管理技士、管工事施工管理技士が対象となる「建築・設備施工管理CPD制度」の運用を4月10日に開始し、企業・技術者の参加登録やプログラム認定の受け付けが始まりました。振興基金は、公共工事の発注者に同制度を採用し、総合評価方式などで加点するよう働き掛け。

建築・設備施工管理CPD制度

施工管理技士、その他施工管理に携わる技術者(監理技術者を含む)の知識及び技術の向上を図るため、継続的能力開発を支援するとともに、自己研鑽実績を客観的に評価して活用できるようにするものです。

建設キャリアアップ[®] 登録申請は5月から

郵送での登録申請を5月上旬から受け付けます。インターネットでの登録申請も5月下旬から受付。技能者・事業者の早期申請を促すために、利用料金の割引措置も行われます。2018年度末までに登録した業者は有効期間が最長1年に延期されます。



詳しくは一般社団法人建設業振興基金ホームページまで
<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/>

第1回講座 締め切り直前！

技術者向け CPDSセミナー開催のお知らせ

技術者・現場担当者向けCPDSセミナーを開催いたします。3回シリーズですが、1回のみのご参加も可能です。ぜひご参加ください！3回一括申込なら10%OFF！

◆ 第1回 5月11日(金)

「建設現場の若手職員定着に向けたリーダーシップセミナー」

- ・建設業における若手職員の離職の現状
- ・建設業の担い手に必要な技術
- ・技術指導・継承に必要なリーダーシップ

当研修では経営層や人事採用担当者、現場リーダーを対象に若手職員への技術指導に必要なリーダーシップや指導のありかたをメインテーマに設定し、どのようなことを理解し、どのように指示を出すことが成果につながるかを解説。

◆ 第2回 7月4日(水)

「工事成績評定アップ対策セミナー」

- ・請負工事成績評定要領について
- ・創意工夫、地元対策(事例紹介)
- ・発注者とのコミュニケーション
- ・全社的な取組みによる工事評定向上

工事成績評定の最新の状況などを説明した上で、実際に工事成績アップにつながった取り組みのポイントを解説。発注者や高得点を獲得した請負者へのヒアリングなども踏まえた豊富な事例解説。

◆ 第3回 8月24日(金)

「現場代理人に求められる折衝力強化セミナー」

- ・現場代理人に必要なプレゼンテーション能力
- ・発注者との折衝(設計変更事例紹介)
- ・協力業者との折衝(見積条件、契約変更)

現場代理人に必要な技術提案などをはじめとする折衝能力、特にプレゼンテーション能力、設計交渉についてレクチャー及び演習により実践的な対応力の事例を紹介。

対象：建設業に従事する技術者向けセミナー
会場：京都テルサ(京都市南区東九条下殿町70番地)
先着：50名(先着受付順)
時間：9:30～12:00、12:45～17:00(6.5時間)

10% OFF

3回一括申込み
合計 ¥29,160

(税込み)

5% OFF

2回一括申込み
合計 ¥20,520

(税込み)

ひと講座

各回申込み
合計 ¥10,800

(税込み)

【講師】東 和博 氏(株式会社ランパス 代表取締役)
大阪大学工学部土木工学学科卒、大学院修了。西松建設株式会社勤務を経て建設業コンサルティング、研修会社(株)ランパスを設立。建設部門の技術士。

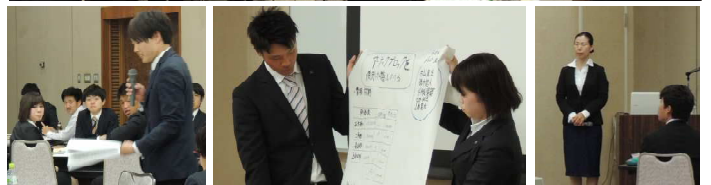
HPよりお申込みいただけます！詳しくは京都サンダーまで

研修会のご報告

京都サンダー受託 研修会レポート

(一社)京都府建設業協会主催の新人研修が、亀岡畑河で二日間にわたって行われました。

一日目は、ビジネスマナーの基本として、挨拶や姿勢・表情、言葉遣い等を実践を交えた講義を受けた後、コミュニケーション能力を鍛えるグループワークを行いました。二日目には、建設技術者としての基礎知識を受講。



二日間、一緒に受講をしたことで、交流が深まり、打ち解けた雰囲気の中で、建設業の未来を共に支える仲間意識が芽生えました。

1次公募 申請期間 4月20日～6月4日(予定)

IT導入補助金

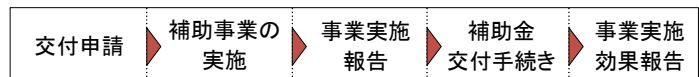
本年度もIT導入補助金の詳細が発表されました。昨年度の100億円から大幅に増額され、500億円の予算が確保。採択予定件数も大幅にアップされ、生産性向上に向けた社内整備をスタートしやすい状況となりました。利用申請の窓口となる支援事業者登録は既に開始され、4月2日からはITツールの登録、4月20日からは事業者様の交付申請が順次開始されます。補助対象者、補助対象経費は以下の通り。

補助対象者	中小企業・小規模事業者
補助対象経費	ソフトウェア、クラウドサービス、HP作成 等 ※PCや機材は対象外 ※セキュリティ対策や保守・サポート費は条件付で対象となる場合があります。
補助率	1/2以内
上限額	50万円/1社
下限額	15万円/1社

交付決定後に購入したツールが補助対象になること、各種事業実施報告作成には注意が必要ですが、支援事業者がサポート・アフターフォローも行います。導入後も安心してITツールがご利用いただけます。

ITベンダーサービス事業者	ITツール(ソフトウェア・サービス 等)の提案・導入及びこれに要する各種申請等の手続き、申請・導入後のサポート・アフターフォローを行います。
---------------	--

IT導入補助金を申請される事業者の皆さまの手続きの流れ



京都サンダーは、ITベンダーサービス事業者として「IT導入補助金」利用のシステム販売・サポートいたします！詳しくはお問い合わせ下さいませ。